

北京石刻関係書 2 種所収石刻細目

森田 憲司

近刊の北京所在石刻の図版集成 2 種に所載の元代石刻の細目に、森田の「北京地区における元朝石刻の現況と文献」(科学研究費基盤研究 B「碑刻等史料の総合的分析によるモンゴル帝国・元朝の政治・経済システムの基礎的研究」[研究代表者 松田孝一] 報告書 2002. 3) を補訂して付記したものである。

1 『新中国出土墓誌・北京 [卷]』

中国文物研究所・北京石刻芸術博物館編, 文物出版社, 2003

※なお, 以下のリスト中の《新出》は本書を指す。

- 図 66 大元国大都路昌平県昭聖禪寺故先師雲峰檀公禪師道行石幢之記(首題)[從檀] 至元二十〇年(『金石彙目分編』作 23 年[北目注], 新出も 23 年に比定, 22 年 12 月没ゆえ 23 年とするか) 昌平区昌平鎮旧県

《新出》注記: 原存昌平区昌平鎮旧県村, 2000 年移交昌平区文物管理所. 現存昌平区文物管理所.

碑陰: 題名, 寺産四至

《北目》, 《池内》339, 《新出》66

『昌平県地名志』(旧県)に「村南有観音菩薩廟有唐元代經幢等」とあるのがこれか。

- 図 67 玄靖達観大師劉公墓誌銘[劉志厚]

至元 25 年(1288)

《新出》注記: 1949 年後房山区紫草塢郷出土. 現蔵房山区文物管理所.

- 図 68 金城山白瀑寿峰禪寺第十一代勤公禪師塔銘(首題)[本勤]

大徳 2 年(1298) 門頭溝区清水郷淤白村白瀑寺

《新出》注記: 1981 年門頭溝区白瀑寺外出土, 現蔵門頭溝区博物館.

「門頭溝区伽藍名僧記」包世軒 『北京文物与考古』4 1994(録文)

『門頭溝区地名志』(淤白村)

『北京名勝古蹟辞典』(本勤禪師塔)

- 図 69 大都鞍山慧聚禪寺月泉新公長老塔銘并序(首題)[同新]

至元 28 年(1291) 門頭溝区戒台寺

《新出》注記: 現址門頭溝区西峰寺, 民国間移至戒台寺. 現蔵門頭溝区戒台寺管理处.

《北目》, 《北拓》48-119, 《池内》344

「門頭溝区伽藍名僧記」包世軒 『北京文物与考古』4 1994

写真: 『元大都』(至正 2/1342 立とする), 『図説北京史』

図 70 訥庵謙公禪塔銘（首題）〔劉道謙〕

《新出》が至元 29 年とする根拠不明。

※断片，9 行のみ（冒頭部分）。

《新出》注記：此為明城牆填充之物，20 世紀 70 年代環線地鐵工地出土。現藏北京石刻芸術博物館。

図 71 某寺退隱僧幢

《新出》仮題：崇国寺退隱僧幢銘

『北京石刻芸術博物館館藏石刻目』仮題：天寿寺退隱僧幢

大徳 9 年（1305） 明北城牆出土

※断片 7 行（途中，上部も欠く），《新出》は文中の卒年によって大徳 9 年とする。

《新出》注記：此為明城牆填充之物，20 世紀 70 年代環線地鐵工地出土。現藏北京石刻芸術博物館。

北京石刻芸術博物館館藏石刻目

図 72 妙巖大師塔銘（断片、仮題）

皇慶元年（1312）（壬子とあるゆえに比定か）

※断片 12 行（末尾）

《新出》注記：原址不明。現藏北京石刻芸術博物館。

図 73 焦公墓誌〔焦理〕

泰定 5 年（1328）

《新出》注記：1989 年房山区紫草塢鎮大董村出土。現藏房山区文物管理所。

図 74 奉福寺円寂雲光長老住持徳公靈塔

至順 4 年（1333）

《新出》注記：此為明城牆填充之物，20 世紀 70 年代環線地鐵工地出土。現藏北京石刻芸術博物館。

北京石刻芸術博物館館藏石刻目

図 75 繼母黄氏墓記〔妙真〕

至元元年（1335）

《新出》注記：1949 年後出土，具体地点不明。現藏朝陽区文物管理所。

図 76 特賜宣授洞奧興福開山祖師講主廻光信公靈塔〔從信〕

至正 8 年（1348）

《新出》注記：1983 年 6 月順義区南彩鎮北彩村出土。現藏順義区文物管理所。

※掲載の拓本は展開図

2 『北京市文物研究所藏墓誌拓片』

北京市文物研究所編，北京燕山出版社，2003

図 71 海雲葬誌

1955年西長安街双塔寺海雲塔基下發見，現在白塔寺。

「燕京双塔慶壽寺与海雲和尚」 蘇天鈞 『北京文物与考古』 1983（録文）

「大慶壽寺及其出土遺物」 張寧・劉樹林 『首都博物館國慶四十周年文集』 1989

図 72 大元故光祿大夫監修国史中書左丞相耶律公墓誌銘 [耶律鏄]

図 73 故郡主夫人奇渥温氏墓誌銘

至元 22 年（1285） 1998 年海淀区頤和園新建地下文物庫出土。

「耶律鏄夫婦合葬墓簡況」 『北京文博』 1998-4

「耶律鏄夫妻合葬墓出土珍貴文物」 『中国文物報』 1999 年 1 月 31 日

「五十年北京地区發現的重要文字石刻」 吳文・傅幸 『北京文博』 2000-1

「《元中書左丞相耶律夫婦合葬墓出土文物展》巡礼」 王丹・王策 『北京文博』 2000-4

「頤和園耶律楚材祠六一重新開門迎客」 『北京日報』 2003 年 5 月 30 日

図 74 昭勇大將軍萬戶張公墓誌銘 [張弘綱]

大德 9 年（1305） 1972 年 5 月朝陽区永定門外小紅門發見。

「元鉄哥父子墓和張弘綱墓」 北京市文物研究所 『考古學報』 1986-1（拓影）

「十年来北京考古的新成果」 靳楓毅・魯琪齊心 『文物工作十年（1979-1989）』

「元代張弘綱墓志及其事蹟考索」 黃秀純 『北京文物与考古』 3 1992

拓影：『図説北京史』

図 75 大元故太傅録軍国重事宣徽使領大司農司太医院事鉄可公墓誌銘（首題） [鉄哥]

皇慶癸丑（2/1313）卒 1962 年 12 月崇文区龍潭湖呂家窯村（現夕照寺街）發見

「元鉄哥父子墓和張弘綱墓」 北京市文物研究所 『考古學報』 1986-1（拓影）

「北京出土的元鉄可墓誌銘」 黃秀純・喻震 『首都博物館叢刊』 5 1990

『北京考古四十年』 1990（拓影）

「十年来北京考古的新成果」 靳楓毅・魯琪齊心 『文物工作十年（1979-1989）』

「元《鉄哥墓誌》考釈」 侯士鶚 『北京文物与考古』 2 1991（録文）

「北京地区發現的元代墓葬」 黃秀晚・雷少雨 『北京文物与考古』 2 1991（拓影）

拓影：『図説北京史』

図 76 完者秃墓誌

天曆 2 年卒（1329） 1990 年 5 月朝陽区王四營鄉南豆各庄北京第二監獄出土，志石現存於北京市文物研究所。

「朝陽区發現兩座元墓」 『北京考古信息』 1991-1（北京考古集成所収）

「北京地区發現兩座元代墓葬」 『北京文物与考古』 3 1992

（もりた けんじ 奈良大学）